

松中ノートを活用して

学力の向上を目指そう!!



名前()

松中ノート(家庭学習)について

(1) 松中ノート(家庭学習)の目的

- ① 学習習慣を定着させる。
- ② 学習内容(基礎学力)を定着させる。
- ③ 学習方法を試行錯誤しながら考えさせ、自分に合った学習の方法を定着させる。

(2) 松中ノートの意義について

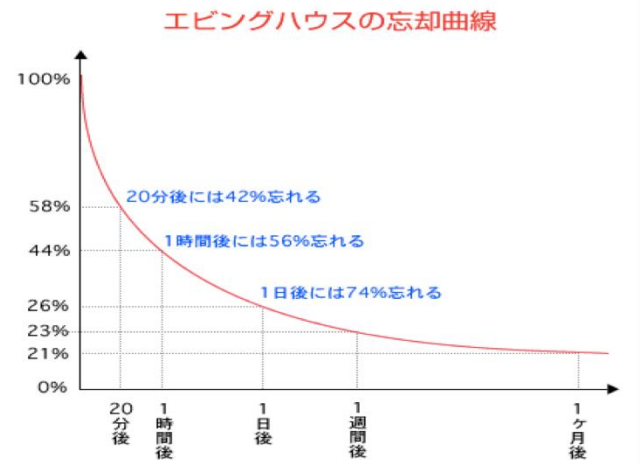
① 人間は忘れる生き物、授業の復習が学力向上の近道

➡右の図は、人間が覚えたことをどの程度再現できるかというグラフです。逆を言えば、どの程度忘れていくかということになります。

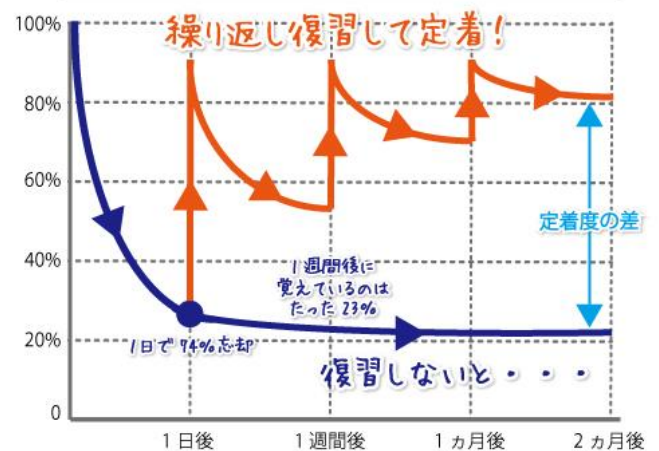
最初、何も知らなかったところから勉強をし、知識を得ました。この時点では記憶は 100%のところになりますね。ではどう復習したら知識をしっかりと記憶させられるかということですが、適切な時期に振り返りを行うことです。その効率の良い時間を紹介します。

まず、学習した後 24 時間以内に 10 分間の復習をすると、記憶率は 100%に戻ります。そして、ここからが素晴らしいのですが、次回の復習は 1 週間以内に、たった 5 分すれば記憶がよみがえるのです。そして、次は 1 か月以内に 2~4 分復習すれば、また記憶は復活するのです。

松中ノートでは振り返り学習を大切にします。その日学んだことを、その日の内に復習して、行くことが学習の基礎を固めるために大切なことです。なので、皆さんも振り返り学習に力を入れて学習をしていきましょう。



エビングハウスの忘却曲線より



② 松中ノートを活用することが大切

➡松中ノートは、家庭学習の習慣化や授業の内容を定着させるための手立てです。皆さんの学習を先生たちが一緒になって応援し、学力の向上を目指すためのものなので、皆さんの努力が結果に表れてきます。そのため、**松中ノートをやれば学力が向上するわけではなく、皆さんの学習を見守り、アドバイスをしていくことが目的です。**自分で学習をする習慣を身につけ、自己調整学習を行いながら、力をつけられるような学習の在り方を見つけていきましょう。

学習環境が学力向上!!

① 生活リズムを整えて生活しよう

➡寝る時間、起きる時間、朝ご飯を食べるなど、しっかりと生活を整え、1日を元気な状態で過ごしましょう。

② 決まった時間に毎日コツコツ学習しよう

➡毎日の生活を整え、決まった時間に学習し、習慣化していきましょう。

③ 集中して、粘り強く考えて学習しよう

➡学習する時には、スマホやタブレット、ゲームなどが目につかない環境をつくり、集中して学習しましょう。

➡わかるまで、できるようになるまで学習して、「できた」「わかった」ということを大切に学習しましょう。

④ 力をつけるための方法を身につけ、効果的な学習をしよう

➡自分なりの学習方法を身につけ、自分にとって成果が出やすい学習の方法を見つけていきましょう。

⑤ 昨日の自分より、今日の自分、明日の自分、高いモチベーションで学習しよう

➡学習の理解度は人それぞれで、目指す目標も人それぞれです。仲間との比較ではなく、自分が「わかった」「できた」ということを大切に、昨日の自分より成長したと思える学習をしていきましょう。そして、できた自分をしっかりと褒めて、学習のモチベーションを上げていこう。



◎松中の取り組み◎

☑生活記録ノート

<目的>

- 次の日の予定の確認や持ち物の確認
- 先生とみなさんとのコミュニケーションツールとして活用
※交換日記のように活用し、皆さんのことを理解したり、先生たちと気軽にコミュニケーションをとったりするために使います。
※自分の思いなどを伝えるための文章を書く力をつけていこう。



<先生のかかわり>

- 学年の先生がコメントなどを記入して返却する
※みなさんとたくさんコミュニケーションをとって、もっと皆さんのことを理解したいです。
※なかなか直接言えない相談もここに書いてくれると、一緒に考えることができます。

☑松中ノート

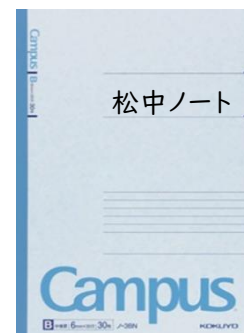
★個人で大学ノートを購入してください。

<目的>

- 家庭学習の定着
- 基礎的・基本的な知識の定着
- 自己調整学習能力の育成（個別最適な学びの実現）

<先生のかかわり>

- 学年関係なく先生がコメントなどを記入して返却します。
※様々な視点のコメントがあり、自分に合った学習法が見つかるかもしれません。
※先生たちも、皆さんの学習の理解度を把握することができます。
- 勉強のアドバイスができます。
※自分で何を学習すればいいのかわからずにいる人もコメントを参考にし、少しずつ学習への自己調整力を身につけていきましょう。



☑AIドリル

<目的>

- 一人ひとりに合った学習課題による学力の向上
- 学習履歴を蓄積し、弱点の発見や克服
- 自己調整力の育成
- 進路実現に向けた学習

<先生のかかわり>

- 学習履歴を確認してアドバイスすることができます
- 一人ひとりに合った学習の手助けができます。



松中ノートの“上手な使い方”

<目指す松中ノート:左ページの目標> **全校統一!!**

振り返り学習を毎日行い、その日の授業内容を定着させよう!!

★振り返り学習では次のことを意識!★

- ① 今日の各教科の授業の中で、大切なこと、身につけるべき学習が何だったかがわかっている。
- ② 自分で授業を思い出しながらまとめ直すことで、学習内容が整理される。

◎左ページの例◎

4 . 18 月

日付, 学習時間を記入する
※学習の振り返りに最適です。自分がいつ、どのくらい頑張ったのか、今後どれだけ頑張ればいいのかわかる!!

今日の学習
17:00 ~ 18:00

2 校時	英語	・ 単語 (great grand father) (great grand mother) <small>ungröndföter</small> <small>ungröndföter</small> 祖父 (grand father) (grand mother) 祖母 父 (father) (mother) 母 me 自分 (ここにみじくくおはなすか入ってほしい!!)
3 校時	家庭科	・ 消費生活のしくみ 物質 ... 形のあるもの 例) 食料品, 衣料品 など サービス ... 形のないもの 例) 医療, 塾, クリーニングなど
5 校時	社会	・ フランスとアメリカの革命 1755 独立戦争 (ワシントン) <合衆国憲法> 1766 独立宣言 - 民主主義 司法, 行政, 立法 ・ フランス革命 「聖職者, 貴族 平民 → フランス革命 自由で平等な社会
6 校時	理科	・ 電流, 電圧, 抵抗器 (流) (圧) (抵) $V = RI$ (当てはめて計算)

振り返り教科の確認

- 学習スタンバイの時間に、その日の授業を振り返り、家に帰って何の教科を復習するかを確認しよう。
 - 学習に必要な教科書やノートを持ち帰るようにしよう
- 1日3教科を基準に振り返りができるといいですね。

<左ページの進め方> ※左ページに書ききれなければ、右ページに移っても大丈夫です!!

① ノートの左(2cmくらい)に今日振り返り学習をする教科を記入しましょう。

➡後で松中ノートを見返すときに、見返しやすくなります。

② 振り返り学習をしましょう。

➡自分の学習の理解度や定着度に合わせた振り返りの方法を考えていきましょう。

3つの Level で、自分に合った振り返り学習をしていきましょう。

Level. 1 : 授業ノート確認型の振り返り学習

『対象』 振り返り学習をどのように進めればよいかお悩み中の人向け

- ① その日の授業ノートをまず読みながら見返す。× 2回
- ② 授業ノートを見ながら、松中ノートに**大切だと思う用語を赤**で記入し、**説明を黒**で記入する。
- ③ 1日3教科くらいを目指して学習を進める。
- ④ 赤シートを使ったり、赤字を隠したりして、松中ノートの自分で書いた赤い字が思い出せるか確認をする。

学んだ知識を

自分のものにする

Level. 2 : 思いだし型の振り返り学習

『対象』 授業中にある程度理解ができていて、覚えられている人向け

- ① その日の授業ノートをまず読みながら見返す。
- ② **授業ノートを見ないで**、松中ノートに**大切だと思う用語を赤**で記入し、**説明を黒**で記入する。
- ③ 1日3教科くらいを目指して学習を進める。
- ④ **松中ノートと授業ノートを比較**し、思い出しながらまとめたことが一致しているか確認する。
- ⑤ 赤シートを使ったり、赤字を隠したりして、松中ノートの自分で書いた赤い字が思い出せるか確認をする。

Level. 3 : 自立型の振り返り学習

『対象』 授業で理解が進み、自分の言葉で用語等が説明できる人向け!

- ① その日のノートをまず読みながら見返す。
- ② **授業ノートを見ないで**、松中ノートに**大切だと思う用語を赤**で記入し、**説明を自分の言葉で黒**で記入する。
- ③ 1日3教科くらいを目指して学習を進める。
- ④ **松中ノートと授業ノートや教科書と比較**し、思い出しながらまとめたことが一致しているか確認する。
- ⑤ 赤シートを使ったり、赤字を隠したりして、松中ノートの自分で書いた赤い字が思い出せるか確認をする。

==コラム==

○用語の意味は、自分の言葉でまとめられると確かな理解につながる

- ➡「知識をかみ砕いて理解する→自分にとってわかりやすい言葉に置き換える」というプロセスを経ることで、記憶に残りやすくなります。“自分の言葉”というのは、いつも使っている簡単な言葉のこと。たとえば、「マーケティング」という言葉の意味を「商品・サービスを生産者から消費者へ円滑に移転するためのビジネス活動」と堅苦しい表現で覚えるよりも、「商品・サービスがたくさん売れるようにする活動」と解釈したほうが、理解も暗記もやりやすいですね。あとで復習することを考えても、自分が理解しやすい言葉でノートに書くほうが、学習内容を思い出しやすくなります。

松中ノートの“上手な使い方2”

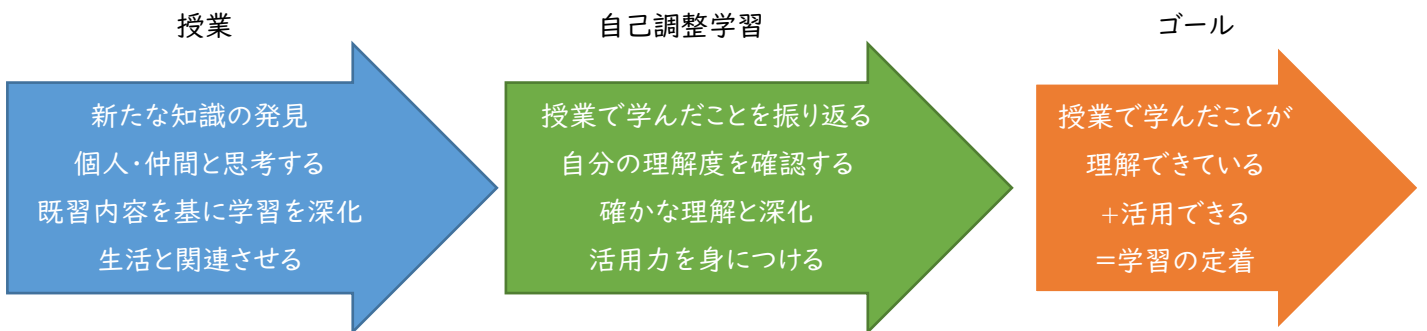
<目指す松中ノート:右ページの目標>

自己調整学習を行い、確かな学力を身につけよう!!

○自己調整学習ってなに??

自己調整学習 … 自分の特性や興味関心、理解度に合わせて、学習のあり方を調整しながら、自分で学習目標を設定し、試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組むことで、学習目標を達成する学習。

<学習の流れとゴール>



★自己調整学習では次のことを意識!★

- ① 自分のわからないこと、できるようになりたいことを意識して目標を立て、目標を達成できるように粘り強く努力する。
- ② 様々な学習ツールを活用し、学習課題について『なぜ・どうして』を深く考え、自分なりの答えをもてるようにする。
※学習ツール … 教科書・授業ノート・資料集・ワーク・GIGAPC etc…
- ③ 最後に、今日の学習で、『これができるようになった!わかるようになった!』と思えることが最も大切です。

◎右ページの例◎

計画

チェック

① 多項式 × 多項式 を マスタ ー する

① 次の式の計算をしよう

① $(a+7)(b-2) - ab = a+7b-14 - ab$

② $(a-b)(c-d) = ac - ad - bc + bd$

③ $(2a+b)(a+3b) = 2a^2 + 6ab + ab + 3b^2 = 2a^2 + 7ab + 3b^2$

④ $(x-3)(2x+6) = 2x^2 + 6x - 6x - 18 = 2x^2 - 18$

⑤ $(3x+2)(x-4) = 3x^2 - 12x + 2x - 8 = 3x^2 - 10x - 8$

⑥ $(x-2)(x-3) = x^2 - 3x - 2x + 6 = x^2 - 5x + 6$

⑦ $(1+x)(3+x) = 3 + 3x + x + x^2 = x^2 + 4x + 3$

⑧ $(a+1)(a-b+2) = a^2 - ab + 2a + a - b + 2 = a^2 - ab + 3a - b + 2$

⑨ 計算 = 270C と C = 2002 に
= 意味するよ. < Y 展開する

⑩ 次の式を展開せよ

① $(a+b)(a+r) = a^2 + ar + ab + br$

② $(x+5)(2+3) = x^2 + 3x + 5x + 15 = x^2 + 8x + 15$

③ $(x+3)(x+4) = x^2 + 4x + 3x + 12 = x^2 + 7x + 12$

④ $(2a+3)(a+1) = 2a^2 + 2a + 3a + 3 = 2a^2 + 5a + 3$

テスト

分析

練習

<右ページの進め方>

① これまでの学習や自分の学習を自分で振り返り、分析し、学習の計画を立てる。 ※学習スタンバイで実施

【**け**いかく】⇒ **何を、どのように学習して、どこまでできるようになりたいか**を自分で判断する。

例)今日は数学で分数のある方程式の解き方をやったから、基本問題が解けるようにしよう。

② ノートの見出しの欄に、今日の自己調整学習の目標を記入しましょう。

【**け**いかく】⇒ 自分が**今日の学習で何ができるようになりたいのか**を確認して学習を進めることが大切です。

例)「目標:分数のある方程式を解けるようにする」と記入

③自分の設定した目標にそって、学習ツールを利用して取り組む。

【**テ**スト】⇒ 様々な学習ツールの中から、今の**自分に合ったもの・レベルを選択してテスト**を試みる。

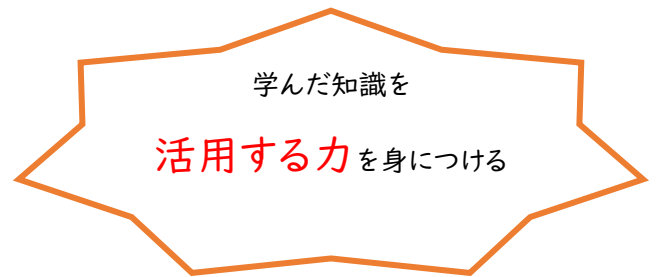
例)数学のワーク P60・61の分数のある方程式をテスト形式で解く

【**ぶ**んせき】⇒ 丸つけを行い、できなかった問題を確認し、どこで間違えたのかを分析する。

例)どこで、どのように間違えたのかを解答で確認し、なぜ間違えたのか確認する。

【**れ**んしゅう】⇒ 間違えた問題の類題で練習する

例)できるようにするために、練習問題を行う



④ 学習目標に対しての自己評価を行う

【**チェ**ック】⇒学習目標の横に自己評価を記入する。

【**わ**かった・できた…◎ 少し不安だけどできた…○ 分からないことが多い…△】を記入

※ できていれば次の目標設定に明日から進もう!

※ わからないこと、疑問に思ったことは、**次の日に先生に自分から聞きにいこう!**

そして、**できたと考えるまで何日も目標に向かって努力する。(同じ目標が続いても OK)**

※ わからないことが多い時には、その学習課題以前の問題かもしれない…。

小学校や前の学年のところまで戻って、目標を立て直すことも大切なこと。(できるようになればいい!)

==コラム==

○自己調整学習の進め方○

け テ ぶ れ ッ ク

大前提として、皆さん一人ひとりに個性や特性があり、一人ひとり違う環境や考え方があるので、『こうやれば勉強ができるようになる』という絶対的な学習の方法はありません。しかし、一人ひとりにたくさんのいいところ、頑張っているところ、頑張れるところがあるので、そのいいところを自分で気づき、自分なりの学習方法を調整していくことが大切です。

そのための一つの考え方が自己調整学習です。自己調整学習の方法が身につくことで、日本で現在求められる『生涯にわたって学ぶ人』の基盤になります。

進め方 : 目標達成に向けた計画を立て、自分で調整しながら確認、改善をして、学んだ内容を活用する力をつける!!

計画 ➡ テスト ➡ 分析 ➡ 練習 ➡ セルフチェック

学習目標の計画を立て、テスト形式で実力を測り、実力を上げるためにはどうすればいいか分析し、練習学習を積み上げる

<け テ ぶ れ ックの大サイクル>

けテぶれックは、毎日の学習を効果的に進めるための学習方法です。しかし、皆さんの前には中間・期末・到達度・入試という学習の到達度を確認するための大きな区切りがあります。その区切りをどのようにして、乗り越えるかが大切です。

しかし、小さなけテぶれックの積み重ねができると、テストまでの大きなサイクルが見えてきます。けテぶれックをテストまでの大きなサイクルとすると、次のように変えることができます。

けテぶれックの大サイクル

大計画 … テストの日までの学習の計画

大テスト … テスト本番

大分析 … テスト結果の分析

大練習 … テスト直しと次にできるようにするための練習

大チェック … 大計画～大練習までのセルフチェック

※次のテストまでに改善すべきポイントが見えてくる。

この大けテぶれックを常に行うことで、皆さんの学力の向上につながり、進路選択の幅が増えてきます。



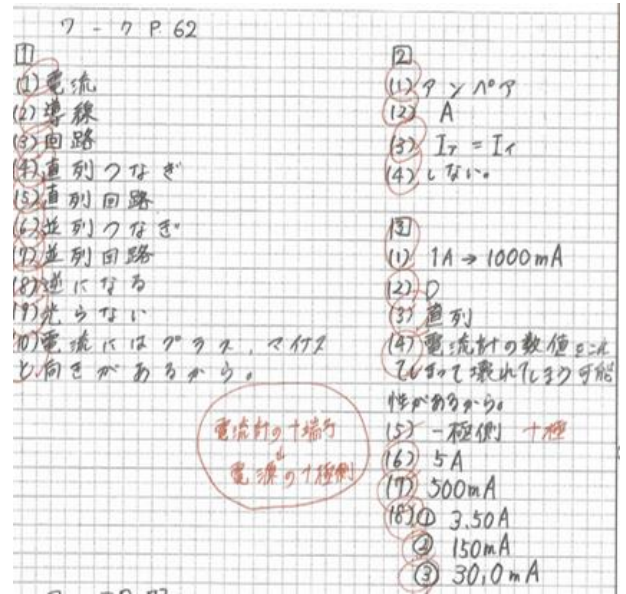
※けテぶれックは学習の方法です。これをやれば点数が上がるわけではなく、自分で学習を効果的に行うための1つの方法です!!

<さまざまな学習ツールを使った学習>

① 学校で購入したワーク等を使った学習

各教科でワークが配られていると思います。これは、**授業内容を定着させ、活用し、確かな力をつけてもらいたい**という思いから、購入しているものです。また、テストは皆さんの自己調整学習の成果を確認し、見直し、改善をするためのものです。

テスト範囲表に【ワーク P〇〇~P〇〇まで】と記入されていますが、**テスト前だけでやりなさい。**ということではなく、今回のテストは、「**ここまでの学習内容が出ますよ**」という意味です。**テストまでに、できるように自己調整学習を進めていきましょう。**学習した内容は自分でわかるので、どんどんワークを進めましょう。そして、ワークの間違った問題を何度も解き直し、できるように自己調整学習をしていきましょう。



<アドバイス>

- ・ワークに直接書き込むと、解き直そうと思ったとき、答えが見えてしまいます。
 - ➡テスト前にやり直すことを考え、普段は松中ノートに答えだけ書こう。
- ・問題を書くのは時間の無駄になってしまいます。
 - ➡答えを書くだけでOKです。
- ・わからない問題が出てきた!!
 - ➡次の日に学校で先生・仲間に聞いてできる様にしよう

秘密の話...

先生たちがテストをつくる時、

みんなの買ったワークを見ているよ!

➡「やったらできる」

と思ってもらいたいからね♡

② 自分で購入したワーク等を使った学習

家の人が買ってくれたものや、兄弟の使っていたものでなどで、自分もこの本を使って勉強したいと思ったら、ぜひやってください。力をつけるために、自分に合った問題をやることは大切です。もちろん、小学校や自分の学年でない問題集でもOKです。力をつけるために、どのような学習の方法があるのかを考えて学習を進めよう

<アドバイス>

- ・漢検・英検・数検などの学習でもOK
 - ➡だけど忘れないで!!一番は授業でやったことができるようになること!
- ・参考書や問題集の種類を増やしすぎない!!
 - ➡参考書や問題集ごとに、到達レベルが決まってつくられています。無理に高いレベルに挑戦しようとしないこと!!
 - できれば一つの問題集を完璧にできるように何度も繰り返すことが大切。



秘密の話...

あれこれ参考書に手を出しすぎると、結局終わらない参考書が出る!

知識のムラが起きやすい!

=問題集を必ず絞って学習を進めよう♡

③ デジタルドリルを活用した学習

GIGA PC が配布され、情報化社会を生きる皆さんにとってよりよい学習の在り方を求めて学校では授業をしています。その目的は、「一人ひとりの良さを生かし、個別に最適な学び」を実現させることです。わかりやすく言うと、皆さん一人ひとりの良さを生かして学習しながら、皆さん一人ひとりにあった学習を行うことです。

そのために、甲州市では、LINES という学習ドリルシステムを導入しました。この LINES を使って、一人ひとりにあった学習を AI が分析・提案し、一人ひとりの理解度に合わせた学習ができるようになりました。



< LINES でできること >

- ・たくさんのドリル形式の問題演習
 - ➔わかりやすい解説もついています
- ・AI が皆さんの学習を分析
 - ➔苦手な分野にあった問題を提案してくれる
- ・高校入試に向けた学習
 - ➔全国の高校入試の過去3年分が掲載
- ・プリント学習
 - ➔プリントもたくさん用意してあるので、自分でプリントを選ぶことができる
- ・幅広い学年の問題
 - ➔小学校1年生から中学校3年生までの問題が取り組める
- ・学習履歴の蓄積
 - ➔自分で何を、どの程度学習したのかがわかるようになっている。



< アドバイス >

- ・自分で進んで学習ができるので、実のある取り組みをしよう
 - ➔苦手なところを積極的に勉強することで苦手の克服
 - ・紙とデジタルのいいところを使いこなせるようになろう
- デジタルのいいところ … いつでも・どこでも・ゲーム感覚でできる
紙 のいいところ … 思考の過程が自分で確認できる



LINES で学習する時の注意

- ① 計算の過程などを、松中ノートの右ページに記入するといいよ!
- ② 間違えた問題は、読んで終わりにするのではなく、松中ノートに記入して書いて覚える!
- ③ おもちゃにならないように、目的をしっかりと意識して学習を進めよう!

※ 詳しい使い方等は後日説明します!!

☑目標・見通しを持った学習をしよう

① 目標をもった学習で学力アップ

家庭学習を毎日続けていくためには、モチベーションが大切です。「何のために学習するのか」を自分で考えて取り組めるようにしていきましょう。そのためには、自分で中期的な目標・長期的な目標を決めることが大切です。

※短期目標は、松中ノートの右ページで立てます!!

中期的な目標 … 1・2か月先にできるようになったと思えるための目標です。(人それぞれでいい)

中学生の場合は、定期テストが2カ月おきにあるので、定期テストの目標でOK

例) 中間テストで、英・数・社で60点を目指す。苦手な理・国は50点をとる。

特に、読解力をつけるために、文章問題集を多く解く。

長期的な目標 … 1年～1年半くらい先にできるようになったと思えるための目標です。

進路実現に向けた目標設定をしていけるといいですね。

例) 松里高校に行けるように、各教70点平均(350点)が安定してとれるようになる。

例) 到達度テストで、合計点を50点(1教科10点)UPして勉強する。



② 見通しを持った学習で学力アップ

勉強やテストがすべてではありませんが、皆さんの日々の授業や家庭学習での成果を確認するためのものがテストです。テストは、皆さんをふるいにかけるものではありません。一人ひとりが立てた目標に向かってどの程度到達できたかを確認し、学習の改善を図るためのものだと思います。

そのため、先生たちも全力で応援し、「頑張ったからできた」と思えるようなテストをつくっています。

※小学校では、100点・90点が当たり前だった人もいますが、中学校では高校入試も見据えたレベルのテストを実施しています。そのため、例年の各教科の平均点は60点前後になります。しかし、90点100点をとる生徒も多くいます。自分の理解度や目標に合わせた点数を目標にしていきましょう!

(仲間との比較ではなく、過去の自分との比較です!!)



★テストの日程★ 確認して、計画的な学習を進めてください!!

1学期		2学期		3学期	
4月上旬	到達度テスト	8月下旬	夏休み明けテスト	1月上旬	冬休み明けテスト
5月	中間テスト	10月	中間テスト	2月	期末テスト
6月	期末テスト	11月	期末テスト	3月	到達度テスト
7月	到達度テスト	12月	到達度テスト		

※中間・期末は皆さんの学習に合わせて先生たちがテストを作成しますが、到達度テストは業者が作成し、多くの県内の中学生が同じようなテストを受検する、実力テストです。入試に近い、実力テストだと思ってください。






★3年間の学習計画★

学期	1年生	2年生	3年生
学習時間の目安	○100～120分くらい(1時間半～2時間)		○120～150分(2時間半)
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムを整える ・授業内容の定着 ・毎日同じ時間に勉強する 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の定着 ・学習を自己分析する ・毎日の学習を少し伸ばす ★高校のパンフレットなどを見て、高校生活の様子を知り、興味のある高校を調べよう。 ★将来どんな職業につきたいか考えていこう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の定着 ・1・2年の内容の復習 ・自己分析を生かした学習 ・毎日の学習を少し伸ばす ★学校説明会・オープンスクール、ハローワークに行って進路に向けた調査をしよう。 ★多くの学校や企業を自分で見てみるのが大切
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の定着 ・生活リズムの定着 ・勉強の仕方の改善 ・1～2学期の苦手克服 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の定着 ・学習の自己分析を生かした学習の基盤づくり (自分の学習方法の確立) ・1～2学期の苦手克服 ・1年生の内容の復習(冬～) ★3年生に高校の話を知ったり、調べたりして、進路を具体的にイメージしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の定着 ・1・2年の内容の復習 ・応用力・実践力をつける ・自己分析を生かした学習 ・毎日の学習を少し伸ばす ★志望校・併願校・就職先の決定 ★前期入試に向けた準備 ★後期入試に向けた準備 ★就職活動に向けた準備
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の定着 ・生活リズムの安定 ・学習の方法の改善 ・1年生のまとめ ★3年生のようすを見ながら、進路決定に向けて、どのようなことをしているのか知る。 ★将来の目標や職業について考え始めよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の定着 ・1・2年生の復習と定着 ・自己分析を取り入れた学習 ・2年生のまとめ ★3年生の様子を見ながら来年の様子をイメージする。直接先輩に聞いてみよう。 ★進路実現に向けた進路を具体的に調べてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の定着 ・1・2・3年の内容の復習 ・応用力・実践力をつける ・自己分析を生かした学習 ・毎日の学習を少し伸ばす ★各種入試準備 ★各種入試・就活
入試との関連	・入試の約3.5割の単元 各教科35点分は1年生	・入試の約3.5割の単元 各教科35点分は2年生	・入試の約3割の単元 各教科30点分は1年生
	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生から3年生の評定が合わさって、調査書が志願校に送られます。 ※3年で頑張ればいいわけではなく、1年生のうちから、力をつけるための学習が必要になります。 ・入試は1000点満点(当日の入試の点数500点、調査書500点)だと思ってください。 ※調査書の評定の対象学年は全ての高校で、中学1年生～3年生です。1年生のうちから頑張ろう! 		

☑各教科の学習のアドバイス

➡**家庭学習**のポイントです。参考にして、松中ノートでも Challenge !

教科	学習のアドバイス	学習ツール
<p style="text-align: center;">国語</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で習う作品は、音読を繰り返すことで理解が深まります。 　※有名作品の冒頭は暗唱できるくらいまで読みこむ。 ・漢字の読み書きは学力の基本です。漢字練習・テストをしよう。 ・ワークを取り組み、できなかったところは解説を読んで理解し、後日もう一度チャレンジして、できるようにしよう。 ・新聞や本を読み、読むスピード、理解力を高めよう。 ・DailyLife に自分の感じたこと・思ったことを記入し、文章力をつけよう。 	<p>教科書・資料集 ノート・辞書 ワーク・漢字スキル LINES</p>
<p style="text-align: center;">社会</p> 	<p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要語句は意味を正しく理解し、自分の言葉で説明できるようにしよう。 ・ワークや小テストを取り組み、できなかったところは解説を読んだり、教科書でもう一度確認したりしてから、後日もう一度チャレンジしてみよう。 <p><地理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳を利用し、地図に慣れ、地名、地域の特徴がわかるようになるよう。 ・雨温図・主題図・地形図・グラフの読み取りができるようになるよう。 <p><歴史></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年表が基本。年号を語呂合わせなど、自分で覚えやすく工夫しよう。 ・5W1H を常に考えよう。(いつ、だれが、どこで、なにをして、どうなった) ・歴史的イベントの背景とその結果や日本—世界のつながりを意識しよう。 ・時代の流れをストーリーとして捉えよう。 <p><公民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の出来事や事件に関心を持とう。 ・新聞やニュースを積極的に活用し、学んだことと社会をつなげよう。 	<p>教科書・資料集 ノート・ワーク 地図帳 LINES</p>
<p style="text-align: center;">数学</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語句をしっかりと覚えよう。数学も言葉が大切。 ・数式の意味を言葉で表現できるようになるよう。 ・復習に力を入れよう。その日の授業内容はその日のうちに行おう。 ・授業で解いた問題、ワーク、学習プリントを中心に、筋道を立てて理解することを大切にしていきましょう。(多くの問題を行い、応用力をつけよう) ・問題解決の道具となるいろいろな計算の方法は、何度も繰り返し、スピードと正確さを身につけるようにしましょう。 ・教科書の中の図やモデルを生かして考えよう。 	<p>教科書 ノート・ワーク LINES</p>
<p style="text-align: center;">英語</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語や英文を声に出して読もう。 ・単語や熟語(フレーズ)、英文(文型)をノートに書いて覚えよう。 単語や熟語は文の中で覚えると効果的です。 ・わからない語句に出会ったら、辞書をひいて調べてみよう。 ・授業で習った表現がどんな場面で役に立つか考えてみよう。 ・言葉は知らなければ使えないので、覚える努力をしよう。 	<p>教科書・辞書 ノート・ワーク LINES</p>

<p>理科</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容を必ずその日の内に振り返りをしてください。(松中ノート) ・実験や観察の目的、操作方法、注意点を理解して、イラストを活用しながら、実験をまとめるようにしよう。 ・まとめてでてくる用語の意味を正しく理解しながら、自分の言葉で表現し、説明できるようにしよう。 ・ワークを繰り返すことで、この実験では何が聞かれるのかがわかるようになるまで学習をしよう。 ・計算問題は、法則や式の意味を理解して、粘り強く学習する。 ・わからない➡わかった となることを楽しみ学習をしよう。 ・学んだ内容が生活とどのように関連しているかを考える習慣をつけよう。 	<p>教科書・資料集 ノート・ワーク LINES</p>
<p>音楽</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなジャンルの音楽を聴き、音楽に親しみましょう。 ・歌詞や楽譜、楽典や歴史などについても、きちんと整理して覚えるようにしましょう。(松中ノートで OK) ・感性豊かに、音楽を様々な方法で表現できるようになろう。 	<p>教科書 授業プリント</p>
<p>美術</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や資料集をよく読み、用語をしっかりと覚えましょう。 ・作業手順や注意事項・用具についてやったことを思い出し、ノートに整理してまとめるようにしましょう。(松中ノートで OK) 	<p>教科書 授業プリント</p>
<p>保健 体育</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で話をする、ルールや技術に関するポイント、競技の歴史、技の名前、やりかたのポイントをまとめ、整理して覚え、実践できるようにする。(松中ノート OK) ・保健分野は教科書をよく読み、まとめよう。(松中ノートで OK) 	<p>教科書 授業プリント</p>
<p>技術 家庭</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具や使い方、役割などをまとめよう。(松中ノートで OK) ・生活の中で、DIY や栽培、家事の手伝いをしよう。 ・家のことに興味をもって、様々なことに挑戦しよう。 ・週に1回はご飯をつくってみよう。 	<p>教科書 授業プリント</p>

※どの教科にも共通していること

- ★授業を大切に、自分の考えを発表したり、仲間と意見を交流させたりして、考えを深めること。
- ★授業の振り返りをきちんとし、次の授業のときには、前回の内容がしっかりと理解されていること。
- ★1回の授業で何が大切だったのかがわかり、自分でアウトプット(仲間に説明)できるようにする。
- ★わかるまで何度も粘り強く、時間をかけて学習を行うこと。
- ★わからないことはそのままにせず、授業中や休み時間に先生や仲間にしっかりと聞くこと。